

2021年5月27日

株式会社京葉銀行



独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行する サステナビリティボンドへの投資について

～SDGs達成に向けた取り組み～

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下、「鉄道建設・運輸施設整備支援機構」）が発行するサステナビリティボンド（※1）に投資しましたので、お知らせいたします。

今回、債券の発行により調達した資金は、環境負荷の低減や地域の生活に不可欠な交通インフラの整備等に充当され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するものです。

当行は、地域金融機関としてSDGs達成に向けた取り組みを行っており、今回の投資はサステナビリティボンドの趣旨に賛同したものです。

【今回のサステナビリティボンドの概要】

債 券 名	第147回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 (CBI (※2) プログラム認証付きサステナビリティボンド)
年 限	15年
発 行 額	100億円
発 行 日	2021年5月28日

(※1) 調達資金の用途が、環境改善効果があること（グリーン性）および、社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券のこと

(※2) Climate Bonds Initiative：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO

当行は今後も、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

以 上



京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。

【SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）】

2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。